

## 日本初の公募登山隊を組織してから —その20年の歩み—

### 国際山岳ガイドとなった経緯と公募登山隊の歴史について

国際山岳ガイド、(公社)日本山岳ガイド協会理事・国際委員、  
(株)アドベンチャーガイズ代表、(株)ダイナウォール(ストーンジック)代表、  
(財)全国山の日協議会運営委員、山の日アンバサダー

近藤 謙司

23歳でエベレスト冬季北壁最高地点到達者(現在の世界記録)となり、チョーオユウ(8201m)無酸素登頂等の遠征登山、欧州アルプス等を多数登攀。北朝鮮の白頭山冬季登頂もしている。山岳ガイドとしてヨーロッパアルプス、ヒマラヤなど世界7大陸の高峰に登頂。

エベレスト7回を含むヒマラヤ8000m峰に17回登頂。マッターホルン82回、モンブラン50回、アイガー25回など。海外・国内で山岳ガイドとして活動。バックカントリースキー&スノーボードガイド、野外教育講師としても積極的に活動。

2020TOKYO五輪MTB競技救助隊長、国際自然環境アウトドア専門学校講師、筑波大学野外活動学科 非常勤講師、NHKほかの山岳TV番組のコメンテーター多数。

著書:「雪山100のリスク」、「僕は冒険案内人」(山と溪谷社)、

「エベレストのぼれます」(産業編集センター)など

### 《ガイドへのアプローチ》

幼少～学生時代の山や自然への関心 → 父親の影響あり 谷川岳、日光、蔵王スキー

高校時代 山岳部 → 都立高校 趣味のクラブ → 岩雪への憧れ  
JAC入会 小原勝郎・晴子夫妻との出会い  
山岳ガイド・根岸知(JECC)との出会い

大学時代 山岳会 → 登山家医学博士・今井通子との出会い  
カモシカ同人、メビウス同人、JECC  
植村直己物語、木本、倉岡ほかの先輩との出会い

ヒマラヤ・アルプス遠征登山からの意識変化→山岳ガイドへ?

### 《登山愛好者から山岳ガイドへ》

カモシカ同人冬季チョモランマ北壁隊 1983, 1985

北朝鮮冬季白頭山登山隊 1987 →スノーボード

カモシカ同人チョーオユウ隊 1987 →パラグライダー

ヨーロッパアルプス遠征&ガイド →国際山岳ガイド研修開始

## 《ワーク・プロフィール》

根岸ガイドの見習いアシ → 子供の雪山スキー教室 安心

インチキ個人ガイド → 学生 知人の子供を預かる 不安

今井通子事務所勤務 → ガイド仕事が具体的になる 安心

→ パラグライダー教室 ダンプ/半谷

→ アルプス韓国などの海外登山

→ 遠征登山隊同行のツアー 貫田/小松

アトラストレック転職 → 旅行業・保険業資格 更なる安心

→ 世界の山々へ 磯野/佐々木

→ アフリカ・東南アジア・北米・中米・NZ

→ ガイド協会との極的な関わり

→ 6000m峰までの限界

日本の旅行業の限界・山岳業界の常識 → 独立を決意

## 《1998年 新会社設立》

(株)アドベンチャーガイズ

ネーミング → 同業他社 冒険案内人 AG

社風 → 自由な発想 好きな企画 緩い冒険的イメージ？

仕事少ない → 雑誌企画 ガイドブック作成

地方観光局日本連絡所 スキー場・雑誌タイアップ企画

一般観光・ハイカー層 → ハイキング、スノーシュー/岩山雪山

ヤマケイ登山教室 → バックカントリースキー、スノーボード

スポーツ系専門学校 講師

ヨーロッパアルプス・ハイキング ネパール・トレッキング

クライミング好き・雪山好き → 海外の山への誘い

5000/6000m 峰 → 中央アジア、ネパール、南米、アラスカ

6000m 峰以上の高さへ → 公募登山隊の企画

## 《公募登山隊 企画》

<2002年 チョー・オユー 8201m>

1987年に無酸素登頂。高成功率と判断。公募登山経験のある大蔵喜福に同行を依頼。  
徹底的なストレスの軽減、充実した食糧計画。 気象情報他 公募隊外国隊との情報共有と連携

参加メンバー

HAI, JIMSCA, JAC 山岳会所属者 チベット登山協会 ネパールスタッフ

日本人9名 ネパール人9名 登頂 無事下山。 チョーオユー山頂からエベレストが目の前に見えた。

## 《アタックメンバー》

先発隊

|      |   |    |       |
|------|---|----|-------|
| 近藤謙司 | M | 39 | 山岳ガイド |
| TK氏  | M | 45 | 鍼灸師   |
| YK氏  | M | 51 | 市役所職員 |
| SK氏  | M | 59 | 幼稚園園長 |
| OS氏  | F | 61 | 内科医師  |

後発隊

|      |   |    |           |
|------|---|----|-----------|
| 大蔵喜福 | M | 51 | 登山家・山岳ガイド |
| HH氏  | M | 59 | レコード店経営   |
| SY氏  | F | 63 | 主婦        |
| UT氏  | F | 71 | 薬剤師       |

リタイヤ

|     |   |    |         |
|-----|---|----|---------|
| HT氏 | M | 72 | (ABCにて) |
| TS氏 | M | 60 | (ABCにて) |

ベースキャンプマネージャー

|     |   |    |     |
|-----|---|----|-----|
| ST氏 | F | 35 | 会社員 |
|-----|---|----|-----|

現地スタッフ

シェルパ10名、コック1名、  
キッチンボーイ2名、  
ヤク50頭



## SCHEDULE

| Date      | Group 「ヤク近藤」                               | Group 「タワシ髭大蔵」   | Group C       |
|-----------|--|------------------|---------------|
| 9月01日(日)  | 関西空港 12:30 発(RA412) →カトマンズ 18:15 発(1,350m) |                  |               |
| 02日(月)    | カトマンズ (現地準備日)                              |                  |               |
| 03日(火)    | カトマンズ 09:50 発(SZ408) →ラサ(3,607m)13:10 着    |                  |               |
| 04日(水)    | ラサ滞在 (高度順応)                                |                  |               |
| 05日(木)    | ラサ滞在 (高度順応)                                |                  |               |
| 06日(金)    | ラサ→シガツェ(3,900m)                            |                  |               |
| 07日(土)    | シガツェ→ティンリ(4,342m)                          |                  | →ザンムー(2,300m) |
| 08日(日)    | ティンリ                                       |                  | →ニェラム(3750m)  |
| 09日(月)    | ティンリ→BC (ジャプラ) (4,950m)                    |                  | →ティンリ→BC      |
| 10日(火)    | BC   |                  |               |
| 11日(水)    | BC   |                  |               |
| 12日(木)    | BC   |                  |               |
| 13日(金)    | BC→バルン(5,250m)※ヤク荷上げ                       |                  |               |
| 14日(土)    | バルン→ABC(5,700m)                            |                  |               |
| 15日(日)    | ABC  |                  |               |
| 16日(月)    | ABC←→C 1 (6,350m)                          |                  |               |
| 17日(火)    | ABC  |                  |               |
| 18日(水)    | ABC  |                  |               |
| 19日(木)    | ABC→C 1                                    | ABC→DC           |               |
| 20日(金)    | C 1→ABC                                    | DC→C1            |               |
| 21日(土)    | ABC  | C1→ABC           |               |
| 22日(日)    | ABC  | ABC              |               |
| 23日(月)    | ABC  | ABC              |               |
| 24日(火)    | ABC  | ABC              |               |
| 25日(水)    | ABC → C1                                   | ABC              |               |
| 26日(木)    | C1   | ABC              |               |
| 27日(金)    | C1   | ABC              |               |
| 28日(土)    | C1 → C2                                    | ABC → C1         |               |
| 29日(日)    | C2   | C1 → C2          |               |
| 30日(月)    | C2 → Summit → C2                           | C2 → C3          |               |
| 10月01日(火) | C2 → ABC                                   | C3 → Summit → C1 |               |
| 02日(水)    | ABC  | C1 → ABC         |               |
| 03日(木)    | ABC ※ヤク BC 入り パッキング                        |                  |               |
| 04日(金)    | ABC→BC ※ヤク荷下げ                              |                  |               |
| 05日(土)    | BC→ザンムー                                    |                  |               |
| 06日(日)    | ザンムー → コダリ → カトマンズ                         |                  |               |
| 07日(月)    | カトマンズ                                      |                  |               |
| 08日(火)    | カトマンズ 23:45 発(RA411) →                     |                  |               |
| 09日(水)    | 関西空港 11:20 着                               |                  |               |

## 《現在の仕事》

### (株)アドベンチャーガイズ 代表取締役 国際山岳ガイド

旅行会社 山岳ガイド手配 イベント・番組コーディネートなど

### (株)ダイナウォール (クライミングパーク・ストーンマジック)代表

クライミングジムの運営 クライミングウォール設置メンテ

### (公社)日本山岳ガイド協会 理事 国際委員会ほか

国際交流 技術提携 後輩の育成

### (一財)全国山の日協議会 委員 山の日アンバサダー

山の日認知 イベントの誘致

### (特非)日本ロングトレール協会 委員

日本の自然・国土の認知 新しい山岳文化の啓蒙

## セブンサミッツ SEVEN SUMMITS 世界七大陸峰

### <セブンサミッツへのステップアップ>

高所登山、遠征登山。「私には無理だ」とあきらめていませんか。高所での雪稜や岩稜の登攀はもちろん簡単なものではありません。しかし、山岳ガイドのサポートのもと、時間をかけてステップを踏みながら準備をすれば、決して叶わぬ夢ではありません。AGでは参加者の体力、技術、日程、予算などにあわせ、「説明会」「装備の購入」「国内講習会」「現地ツアー」までをトータルにサポート。雪山、岩登りの経験がない方も大歓迎です。一緒に「自分だけの冒険」にチャレンジしましょう。

### <一般登山ツアー> コジオスコ (2,228m)

オーストラリア大陸最高峰。標高1,930mまでリフトがあり、ルートも整備されているので、特別な登山技術は不要です。標高差300mの登りですので、普段山歩きされている方なら雄大な眺めと高山植物を楽しみながらのハイキングで登頂が可能です。

技術度：1、 体力度：1、 ツアー日数：7日間、 登山シーズン：11月下旬～4月上旬

### <一般登山ツアー> キリマンジャロ (5,895m)

アフリカ大陸最高峰。一般ルートはマラングルートで、3つの山小屋を使いながら4泊5日、または5泊6日で登ります。技術的には難しいところは無く、ハイキングの延長で登頂が可能です。短時間で6000m近くまで登るので、しっかりとした基礎体力高所順応がポイントです。

技術度：3、 体力度：5、 ツアー日数：10～14日間、 登山シーズン：6月下旬～10月上旬

### ＜ライトエクスペディション＞ エルブルース（5,642m）

ヨーロッパ大陸最高峰。秀麗な双耳峰。5,000m を越えた高所でのアイゼン歩行を含む山岳登攀になります。ルートの大半が単純な雪上歩行のため、ルートを外れないよう注意すれば、技術的に困難な箇所はありません。また、5,000m エリアで標高差1,000m を登りますので、しっかりした基礎体力が必要です。

技術度：3、 体力度：5、 ツアー日数：10～14 日間、 登山シーズン：7月～9月

### ＜ライトエクスペディション＞ アコンカグア（6,959m）

南米大陸最高峰。7,000m 近い標高のため、しっかりした基礎体力と高所順応がポイント。登山技術としては、斜度のあまりない雪稜で長時間のアイゼン歩行がスムーズにできれば問題ありません。テント生活が続きますので、或る程度、設営や食事準備などができる必要があります。

技術度：4、 体力度：6、 ツアー日数：22 日間、 登山シーズン：12月中旬～2月上旬

### ＜公募登山＞ デナリ（6,194m）

北米大陸最高峰。標高に比べて気温、風、気圧などの条件が厳しく、ポーターもいないので、総合的な登山経験と体力が必要です。長時間のアイゼン歩行と35度程度のフィックスをアッセンダーで登れる技術、自身でソリを使い、40kg 程度の荷上げをするしっかりとした基礎体力と豊富な登山経験が必須となります。雪上でのテント生活が続きますので、設営や食事の準備等もある程度自分でできる必要があります。

技術度：5＋氷河、 体力度：5＋荷上、 必要日数：25 日間、 登山シーズン：5月上旬～6月下旬

### ＜公募登山＞ ビンソンマッシフ（4,892m）

南極大陸最高峰。約30度の雪稜登攀があり、フィックスロープをアッセンダーで登る技術、自身で荷上げができる基礎体力が必要です。氷河セルフレスキューとソリ操作の技術も必須となります。また、気温差が激しく、低い時は-40℃近くまで下がりますので、超低温下での自己マネージメントも必要となります。

技術度：4＋氷河、 体力度：4＋荷上、 必要日数：22 日間、 登山シーズン：11月～1月下旬

### ＜公募登山＞ エベレスト（8,848m）

ついに世界最高峰のエベレストです。フィックスロープをアッセンダーを使いながら登りますので、技術的には雪稜、岩稜登攀の基本をマスターしていればチャレンジ可能です。しかし、高所や強風など苛酷な条件下での登山となりますので、その中でも確実に基本動作ができるように十分な経験が必要です。キャンプでの設営、食事の準備等は基本的にスタッフが行いますが、ある程度自分でできる必要があります。

技術度：6、 体力度：6、 必要日数：51 日間、 登山シーズン：4月～6月上旬

### ＜公募登山・番外編＞ カールステンツ・ピラミッド（4,884m）

コジオスコ以外にもオセアニア最高峰にチャレンジ。秘境にあり入城が難しく、冒険要素の高い登山なので公募隊としています。ダブルユマールで通過する箇所など、難易度の高い岩登りの技術が必要です。

技術度：7、 体力度：4、 必要日数：（ ）日間、 登山シーズン：4月～11月





コジオスコ



キリマンジャロ



エルブルース



アコンカグア



デナリ



ビンソンマッシュフ



エベレスト



カールステンツ・ピラミッド



# 準備編

## 山で働く人々の声に耳を傾けて

人気度、曜日、時間帯…  
混んでいる山は避ける



自宅、経由地、  
山岳エリアの行政の  
メッセージを確認する



2週間前から  
体調の管理を



登山道、山小屋、  
テント場の最新情報  
をチェック



距離が保てないときに  
備え、ネックゲイター、  
マスクを



体力、技術、時間…  
余裕をもって計画を立て、  
早めに計画書を提出する



グループでも  
1人用テントを  
中心に



手指消毒グッズを  
用意する





# 山登り編

## 登山者同士、思いやりをもって

すれ違うときは  
飛沫の行方に  
気をつける



計画に無理が  
出てきたら早めに  
変更する



体調の異変は  
一人で悩まず  
早めに伝える



手指はこまめに  
消毒を



山でも  
「人と人の距離を」



回し飲み、回し食は  
避ける



記録サイトに写真をアップ  
登山者同士で情報をシェア！



カメラ、持ち物は  
なるべく貸し借りしない

